

取扱説明書

DAYTONA corp.

R92620①/②

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。

*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

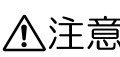
リバースギヤキット	適応車種	商品NO.
	FLHX '13～	92620

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	警告 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
	注意 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 保護メガネ着用	表記の行為を義務付けするものです。
 毒物注意	表記の注意を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 高温注意	表記の注意を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
 火気厳禁	表記の禁止行為を告げるものです。	 接触禁止	表記の禁止行為を告げるものです。
 可燃性注意	表記の注意を告げるものです。		

警告



実施

- この商品の取り付けは、専門的な技能や知識を有する整備士がいる設備の整ったオートバイ店もしくは認証整備工場に作業を依頼すること
- 走行前にクラッチのつながりに異常がないか確認をすること
- 前進、後退共に走行中に異音や振動を感じた場合はすぐに走行を中止し、状況を確認すること
- ブレーカーピンは必ず付属品、もしくは弊社補修品を使用すること
- 後退時は目視で後方を良く確認し、速度が出過ぎないように注意すること
- 作業は、車両を安定して支えられるスタンド等を用意して安全を確保したうえで行うこと
- 商品を取り付ける際、使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷がみられた場合は再使用を避け、必ず新しい部品に交換すること
そのままご使用になれますと、重大な事故につながる恐れがあります。



禁止

- 締め切ったガレージ内部や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないでください。一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は一切の火気をさけてください。また、気化したガソリンが作業場所に充満すると爆発する危険があります。風通しの良い換気の良い場所で作業を行ってください。
- この商品に、指定以外の曲げ・切削・溶接等の加工を行った場合、重大な事故につながる恐れがあります。指定以外の加工を施さないでください。
- この商品を、記載されている適応車種以外に取り付けしないでください。

注意



実施

- 使用や振動による緩み、部品の摩耗が無いか定期的に点検を行うこと
- 操作説明を確認し、正しい使用方法で操作すること
- サビやメッキ浮きの原因となるため、雨天走行後は商品の水分をふき取ること



実施

- 作業を行う際は、必ずエンジンやマフラーが冷えている状態で行ってください。熱い状態で作業を行うと、火傷を負う原因となります。
- 取り付けは確実に行ってください。ボルト・ナット類が走行中に緩む事のないよう、締め付けはトルクレンチを使用して、規定トルクで締め付けてください。
- 作業に必要な工具を用意してから取り付けを行ってください。不適切な工具で作業を行うと部品の破損やケガをする恐れがあります。
- 取り付け後、約100km走行しましたら各部を点検し、ネジの増し締めを行ってください。その後は約500km毎に必ず点検を行ってください。
- 部品や車両のエッジや突起、切削加工時にケガをする恐れがあります。商品を取り付ける際は、軍手や保護眼鏡などの保護具を着用してください。



その他

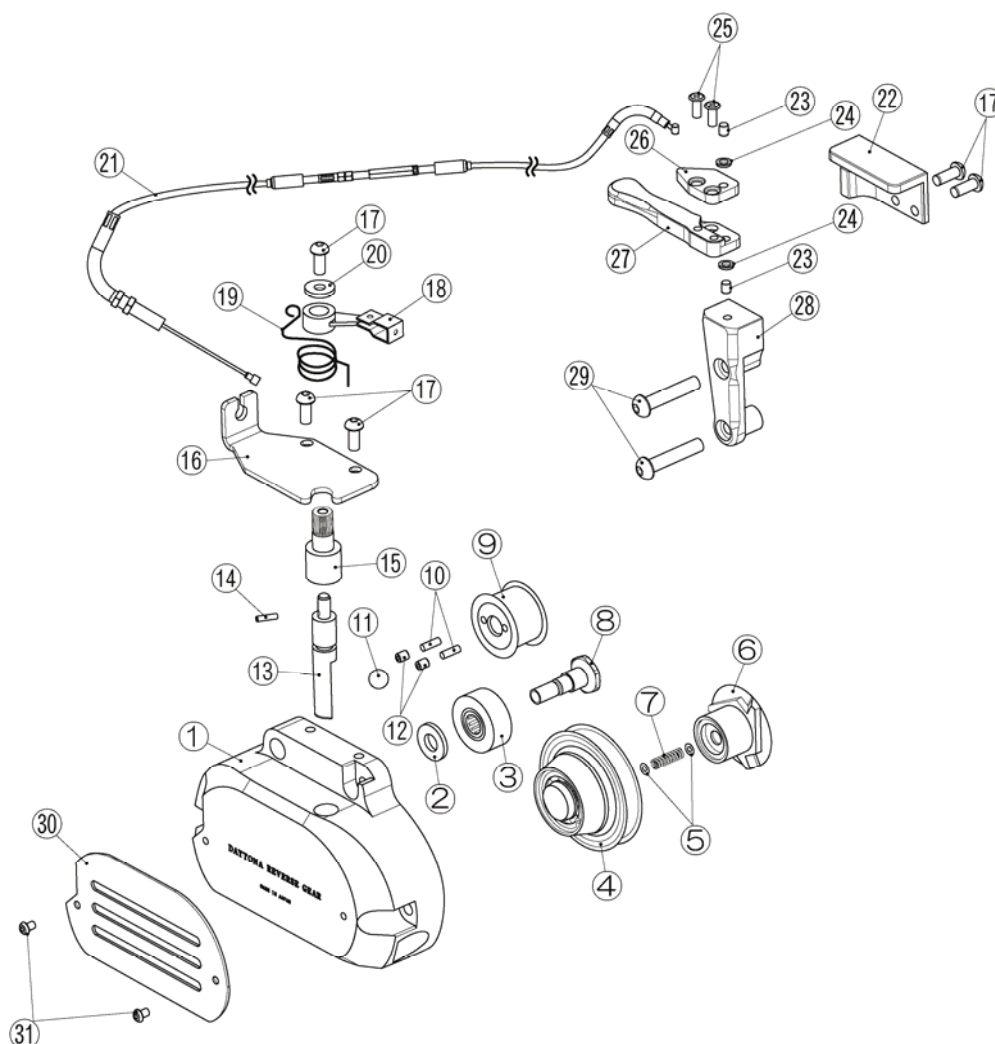
- この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
- 補修部品をお求めの際などに必要になりますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品は、予告なしに価格や仕様の変更をすることがあります。また、本文中で紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

本商品の特徴

- エンジンの回転を利用して車両を後退させる商品です。
- 手元で容易に後退操作を行うことができる機構を採用し、操作時における車両の安定性を確保しました。
- 異常発生時はブレーカーピンが破損し、トランスミッションを保護する機能を有しています。
- 保護機能が働き破損したブレーカーピンはケース外側から交換が可能なため、出先でも容易に交換が可能です。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ケース		1	⑪	ワイヤプレート		1
②	アイドラーギヤワッシャ	Φ10.5×Φ22 ×3.2	1	⑫	ボタンボルト	M6×15	5
③	アイドラーギヤ		1	⑬	ワイヤリテーナ		1
④	カウンターシャフトギヤ		1	⑭	リテーナスプリング		1
⑤	小ワッシャ	M3	2	⑮	ワッシャ	Φ17×Φ6 ×2.3	1
⑥	センターハブ		1	⑯	コントロールワイヤ		1
⑦	カウンターシャフト スプリング		1	⑰	レバーホルダカバー		1
⑧	アイドラーギヤシャフト		1	⑱	レバーピン	Φ5c6	2
⑨	メインシャフトギヤ		1	⑲	テフロンワッシャ		2
⑩	平行ピン	Φ4×12	2	⑳	スリムヘッド小ネジ	M5×12	2
⑪	鋼球		1	㉑	レバーアップパ		1
⑫	イモネジ	M5×6	2	㉒	レバーボディ		1
⑬	リフターシャフト		1	㉓	レバーホルダボディ		1
⑭	ブレーカーピン		5	㉔	ボタンボルト	UNC-1/4-20-1+3/4	2
⑮	ローテーションシャフト		1	㉕	化粧パネル		1
⑯	ワイヤプレート		1	㉖	ボタンボルト	M4×6	2
⑰				㉗	ボールポイントレンチ		1



取付方法

この商品の取り付けは、専門的な技能や知識を有する整備士がいる設備の整ったオートバイ店もしくは認証整備工場に作業を依頼してください。商品の取扱説明書および車両のサービスマニュアルをご用意いただき、確実な作業を行ってください。

作業前準備

取り付け前に、商品の内容をご確認ください。

エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認し、車両を安定して支えられるスタンド等を用いて車体をしっかりと保持したうえでバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。

1. サービスマニュアルを参照して、次の純正部品を車両から取り外します。

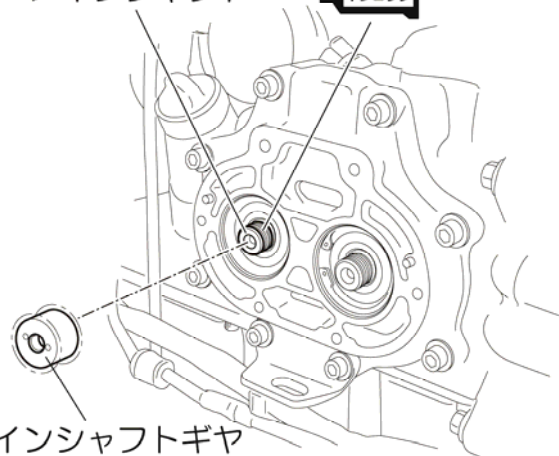
- ・フェアリング
- ・アウタフェアリングスカート
- ・マフラー
- ・トランスミッションサイドカバー
- ・クラッチホース（トランスミッションインナーカバー側のみ）
- ・クラッチエアブリード
- ・クラッチシリンダー、クラッチピストンおよびスプリング
- ・トランスミッションインナーサイドカバー
- ・トランスミッションロックナット
- ・クラッチリリースプッシュロッド

アドバイス

取り外した純正部品は組み立て過程で使いますので清掃して保管します。

メインシャフト

ネジロック

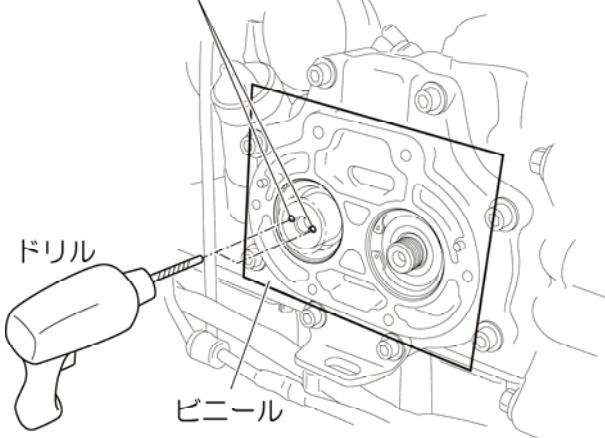
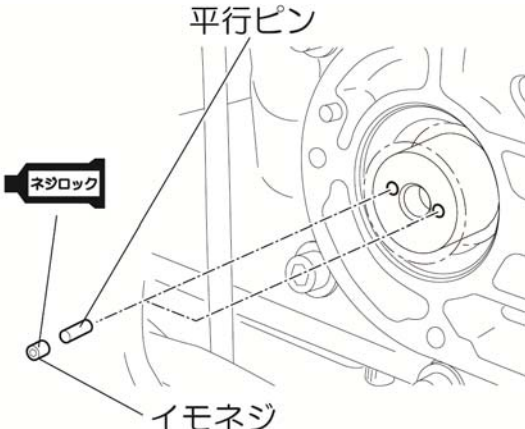
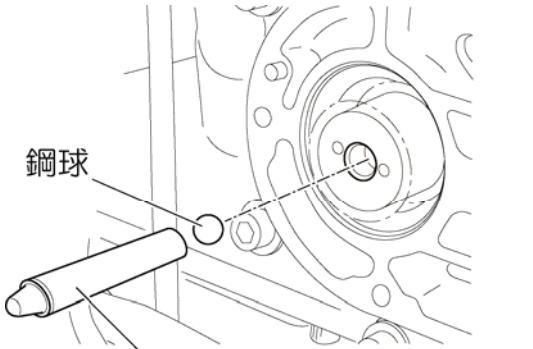
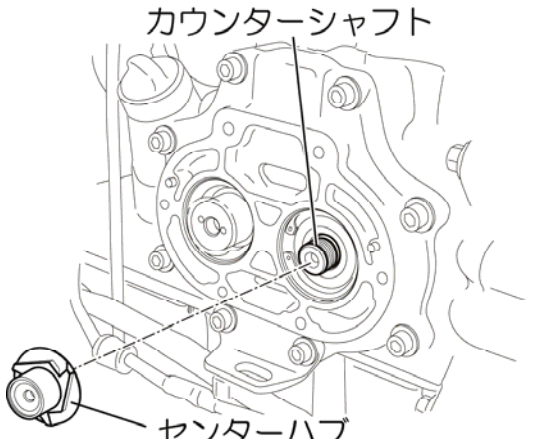


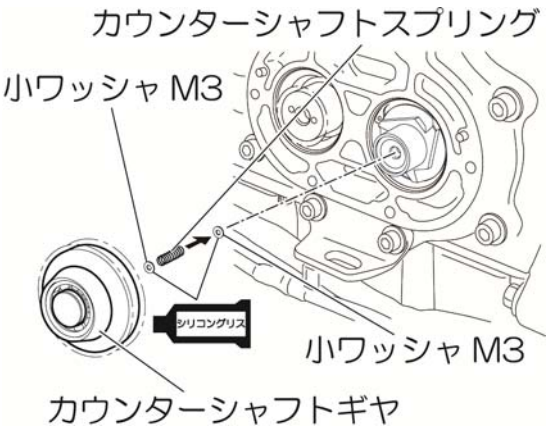
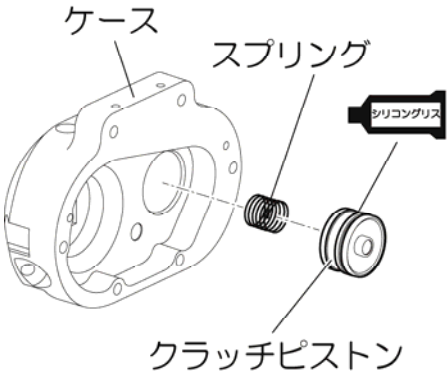
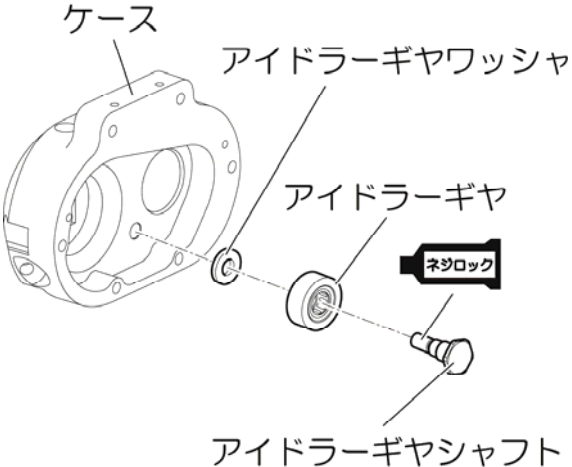
メインシャフトギヤ

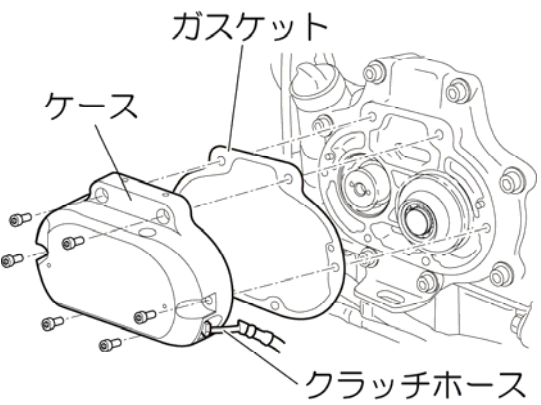
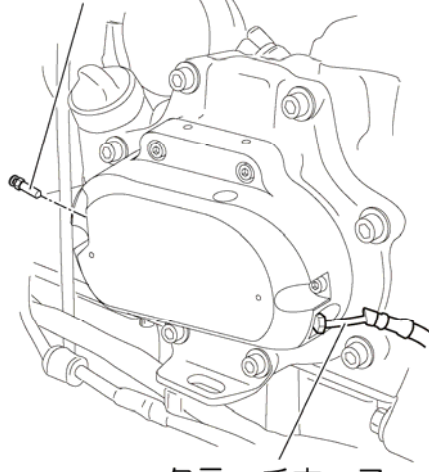
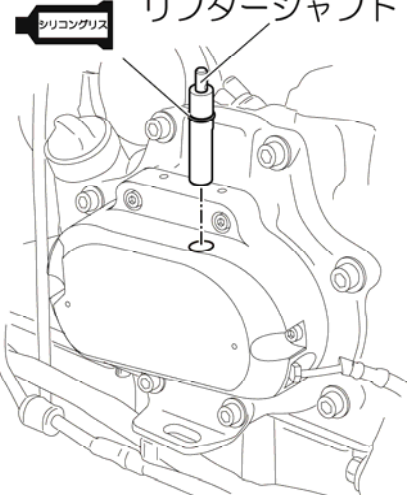
2. ネジロック中強度をメインシャフトのネジ部に塗布します。

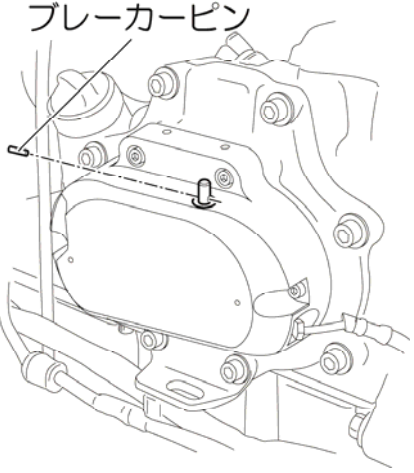
特殊工具メインシャフトギヤを使用して、⑨メインシャフトギヤをメインシャフトに取り付けます。

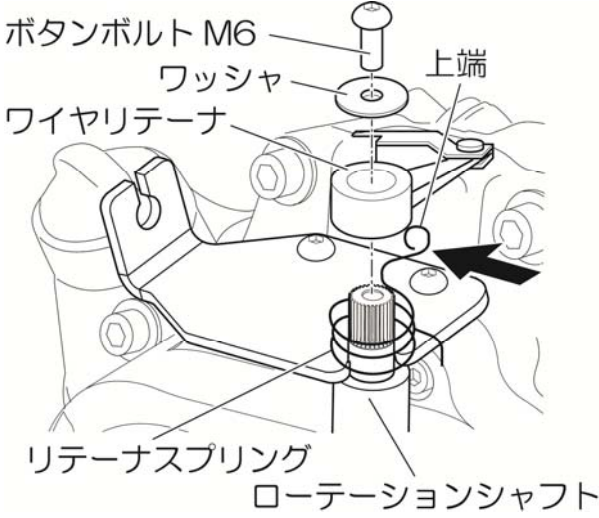
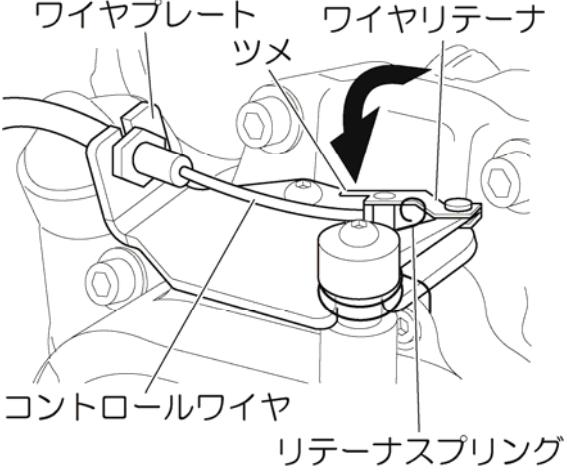
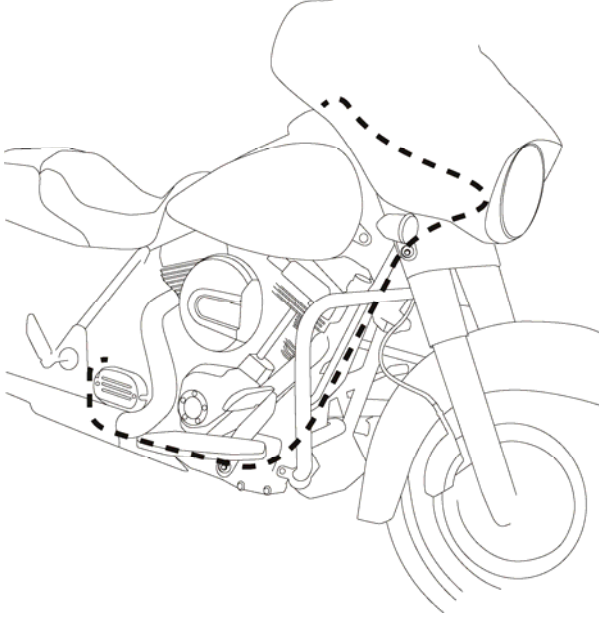
メインシャフトギヤ締め付けトルク:
122 N・m

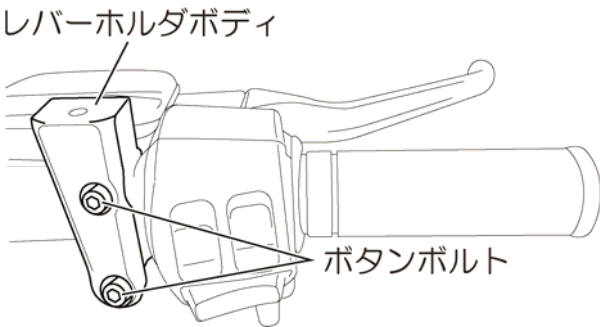
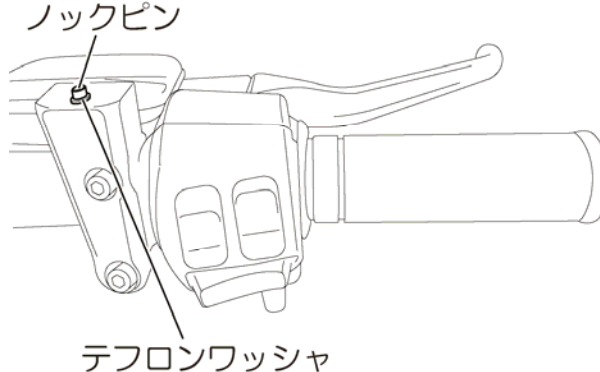
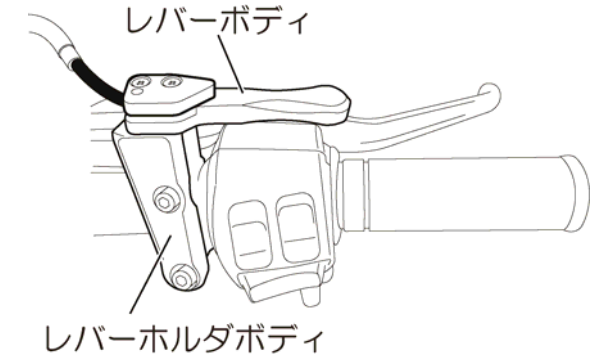
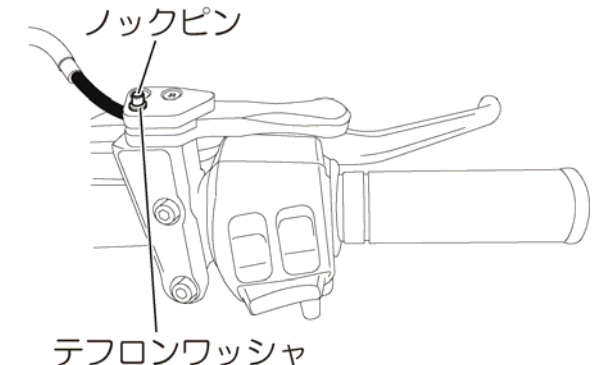
メインシャフトギヤガイド穴  ドリル ビニール	3. ⑨メインシャフトギヤのガイド穴にΦ4 のドリルを挿入しメインシャフトを切削加工します。 アドバイス ・ドリルのショルダから 19.7mm の位置にガムテープを巻き、加工穴の深さを設定します。 ・切削加工時の切削屑がトランスミッション内部に混入しないようビニールなどでカバーして作業を行ってください。 4. 切削屑をエアブローなどで除去します。
平行ピン  ネジロック イモネジ	5. メインシャフトの切削加工部に⑩平行ピンを取り付けます。 6. ネジロック中強度を⑫イモネジのネジ部に塗布して、⑫イモネジを締め付けます。
鋼球  クラッチリリースプッシュロッド	7. メインシャフトに⑪鋼球および車両から取り外した純正のクラッチリリースプッシュロッドを挿入します。
カウンターシャフト  センターハブ	8. 特殊工具センターハブを使用して、⑥センターハブをカウンターシャフトに取り付けます。 センターハブ締め付けトルク: 122 N・m

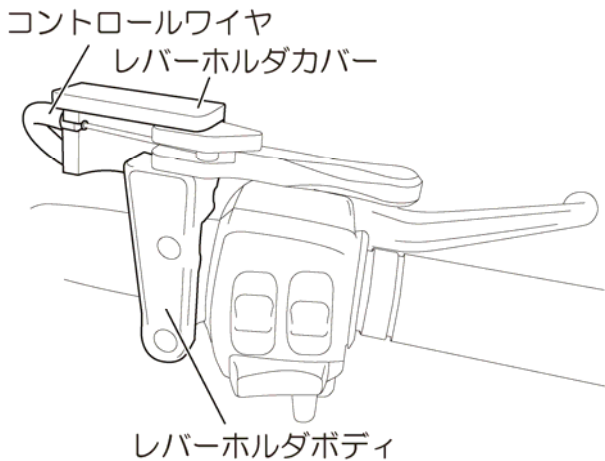
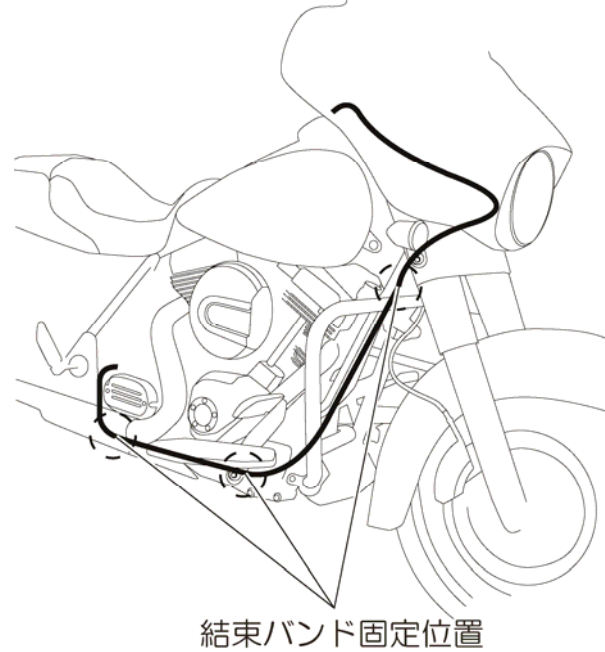
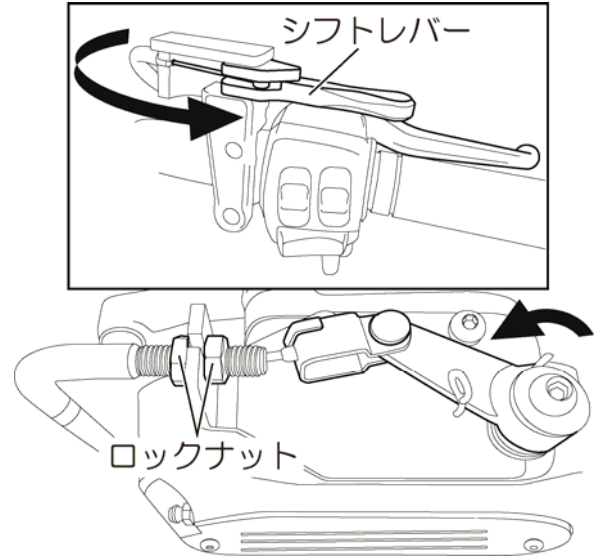
 カウンターのシャフトスプリング 小ワッシャ M3 シリコングリス 小ワッシャ M3 カウンターのシャフトギヤ	9. ⑤小ワッシャ M3 にシリコングリスを塗布します。⑦カウンターのシャフトスプリングを使用して⑤小ワッシャ M3 を⑥センターハブの突当りまで挿入します。 10. ⑤小ワッシャ M3 にシリコングリスを塗布して、④カウンターのシャフトギヤに取り付け、⑤小ワッシャ M3 と⑦カウンターのシャフトスプリングが脱落しないように④カウンターのシャフトギヤをカウンターのシャフトに取り付けます。 アドバイス ④カウンターのシャフトギヤをカウンターのシャフト側に軽く押し付け、スプリングの反力で戻る位置にセットしてください。
 ケース スプリング シリコングリス クラッチピストン	11. 車両から取り外した純正のクラッチピストンのシール部にギヤオイル、エンジンオイルまたはグリスを塗布して、クラッチピストンおよびスプリングを①ケースに挿入します。 アドバイス クラッチピストンシールを損傷させぬよう注意して挿入を行ってください。
 ケース アイドラーギヤワッシャ アイドラーギヤ ネジロック アイドラーギヤシャフト	12. ネジロック中強度を⑧アイドラーギヤシャフトのネジ部に塗布して、①ケースに②アイドラーギヤワッシャ、③アイドラーギヤおよび⑧アイドラーギヤシャフトを取り付けます。 アイドラーギヤシャフト締め付けトルク: 15 N・m

 ガスケット ケース クラッチホース	13. クラッチホースを①ケースに仮組みします。 14. 新品のガスケットをトランスミッションケースに取り付け、車両から取り外した純正のボルトで①ケースをトランスミッションケースに取り付けます。 (締め付けトルクは、サービスマニュアルを参照してください。) アドバイス ①ケースが入らない場合は、無理に押し込むと部品を破損する恐れがあります。この場合は、③アイドルギヤと④カウンターシャフトギヤの位置を変えると①ケースを容易に取り付けることができます。
 クラッチエアブリード クラッチホース	15. 車両から取り外した純正のクラッチエアブリードを①ケースに取り付けます。 16. 純正のクラッチホースの向きを調整して、クラッチホースを規定のトルクで締め付けます。 (締め付けトルクは、サービスマニュアルを参照してください。)
 シリコングリス リフターシャフト	17. ⑬リフターシャフトの O-リングにシリコングリスを塗布して、⑬リフターシャフトの切り欠き側を車両側に向けて①ケースに挿入します。

 ブレーカーピン	18. ⑬リフターシャフトに⑭ブレーカーピンを挿入します。 アドバイス ⑭ブレーカーピンは左右の長さが均等になるように⑬リフターシャフトに取り付けてください。
 ローテーションシャフト リフターシャフト ブレーカーピン	19. ⑮ローテーションシャフトを⑬リフターシャフトに取り付けます。
 ボタンボルト M6 ワイヤプレート	20. ⑯ワイヤプレートを⑰ボタンボルト M6 で①ケースに取り付けます。 ワイヤプレート締め付けトルク: 10 N・m
 ローテーションシャフト リターナスプリング ワイヤプレート 下端	21. ⑲リターナスプリングを⑮ローテーションシャフトに取り付けます。⑲リターナスプリングの下端は、⑯ワイヤプレートの端面に配置します。

	22. ⑮ワイヤリテーナのアーム部が車両に対して垂直となるように⑮ワイヤリテーナを⑮ローテーションシャフトに取り付けます。⑮ワイヤリテーナを取り付ける際は、⑮リテーナスプリングの上端を車両後方に押し、⑮ワイヤリテーナのアーム部に⑮リテーナスプリングを取り付けます。⑮ワイヤリテーナを⑮ワッシャΦ17 と⑮ボタンボルトで締め付けます。 ワイヤリテーナ締め付けトルク: 8 N・m
	23. ⑮コントロールワイヤを⑮ワイヤプレートに仮止めします。⑮ワイヤリテーナを反時計回りに回転させ、⑮ワイヤリテーナに⑮コントロールワイヤを取り付けます。⑮コントロールワイヤを取り付けた後に、⑮ワイヤリテーナのツメを折り曲げます。
	24. 図のように、⑮コントロールワイヤの後端をフロントブレーキレバー部まで配策します。

 レバーホルダボディ ボタンボルト	25. フロントマスタシリンダを固定しているスクリュ 2 本を車両より取り外し、純正のマスタシリンダと⑳レバーホルダボディを㉑ボタンボルトで共締めします。
 ノックピン テフロンワッシャ	26. ㉓レバーピンおよび㉔テフロンワッシャを㉑レバーホルダボディに取り付けます。
 コントロールワイヤ スリムヘッド小ネジ レバーアッパ レバーボディ	27. ㉑コントロールワイヤの後端を㉑レバーボディと㉒レバーアッパに取り付け、㉓スリムヘッド小ネジで締め付けます。
 レバーボディ レバーホルダボディ	28. ㉑レバーホルダボディに㉒レバーボディを取り付けます。 アドバイス ㉒レバーボディのレバーピン穴に㉑レバーホルダボディの㉓レバーピンを確実に挿入すること。
 ノックピン テフロンワッシャ	29. ㉓レバーピンおよび㉔テフロンワッシャを㉒レバーアッパに取り付けます。

 コントロールワイヤ レバーホルダカバー レバーホルダボディ	30. ②レバーホルダーカバーを①⑦ボタンボルトで②⑧レバーホルダボディに取り付け、②①コントロールワイヤを②②レバーホルダーカバーに確実に挿入します。 アドバイス ②②レバーホルダカバーのレバーピン穴に②⑥レバーアップパに取り付けた②③レバーピンを確実に挿入すること。
 結束バンド固定位置	31. 図のように②①コントロールワイヤを結束バンドで固定します。 注意 コントロールワイヤに適度な弛みを設けること。弛みがないとハンドルの操舵角が小さくなり、重大な事故につながる恐れがあります。 商品の取り付け前と取り付け後のハンドル操舵角に相違がないことを確認すること。
 シフトレバー ロックナット	32. ①⑧ワイヤリテーナ側の②①コントロールワイヤ遊び調整ナットでワイヤの遊びを調整します。 遊びは、①⑧ワイヤリテーナを手で後退の位置にしたときに、シフトレバーが後退の位置となるように調整します。 ロックナット締め付けトルク: 8 N・m
	33. サービスマニュアルを参照してクラッチのエア抜きを行います。 注意 クラッチのエア抜きには、指定のフルードを使用すること。

34. 車両から取り外したフェアリング、アウト
フェアリングスカートおよび純正のマフ
ラーを取り付けます。

35. 取り付け後の動作確認を行います。
- クラッチレバーを数回握り、クラッチ
配管からフルードもれがないこと
 - クラッチが確実に切れること
 - エンジンをかけ、トランスミッション
ケース内部から異音などが発生して
いないこと
 - トランスミッションオイルの油量が適正
であること

取扱説明書の操作方法を参照して作動確
認を行います。

操作方法

商品の特徴

この商品は運転者が足を着いて車両を後退させる時の補助動力として使用します。後退において、坂道の登坂や段差などを乗り越えるために使用するものではありません。トランスミッションを保護する機能を有しているため、後退において許容以上の負荷が掛かった場合、安全装置のブレーカーピンが破損して動力を遮断します。

警告



禁止

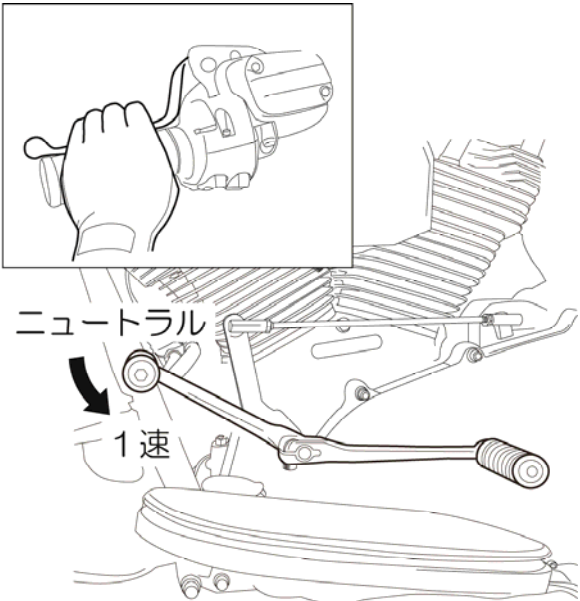
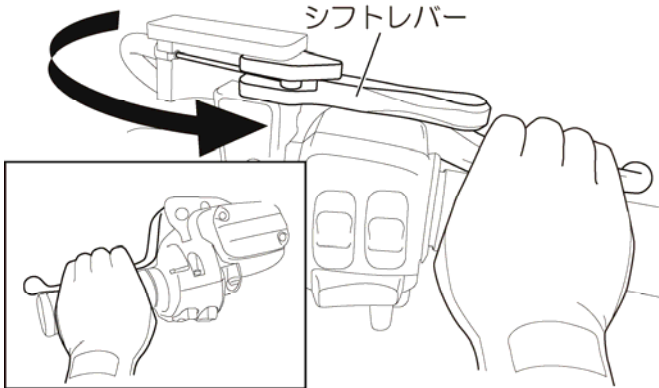
- ・ 後退は必ず1名のみの乗車で行ってください。車両が不安定になり転倒して重大なケガを負う恐れがあります。
- ・ 操作前に操作手順を一通りご確認いただき、操作手順の抜けや間違いが無いように操作を行ってください。操作手順を誤ると転倒して重大なケガを負う恐れがあります。
- ・ 後退で急な坂道の登坂や段差などを乗り越えないでください。保護機能が働き動力が遮断された際に、車両が不安定になり転倒して重大なケガを負う恐れがあります。
- ・ 勢い良くクラッチをつながないでください。車両が不安定になり転倒して重大なケガを負う恐れがあります。
- ・ エンジン回転数は上げずにアイドリングの状態クラッチをつないでください。急な後退により車両が不安定になり転倒して重大なケガを負う恐れがあります。
- ・ この商品を取り付けた後は、エンジンを始動する前に必ずシフトレバーの位置を確認すること。シフトレバーが後退の位置にある状態でクラッチレバーを握らずにエンジンを始動するとブレーカーピンの破損や車両の後退により、思わぬ事故につながる恐れがあります。

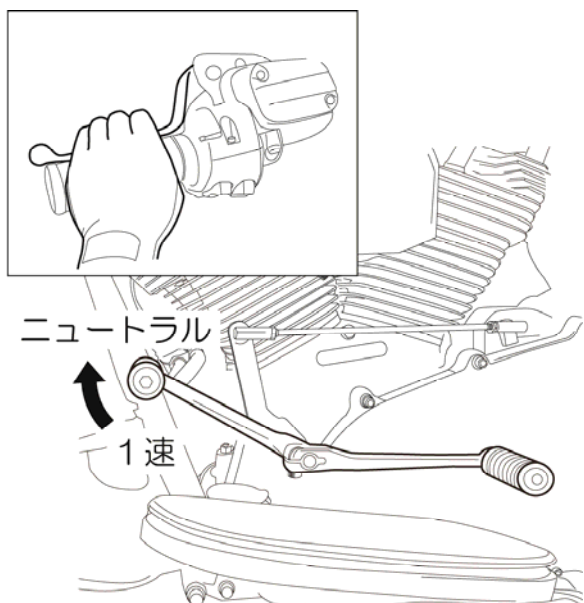
注意



実施

- ・ 前進と比べて後退は車体が不安定な状態になりやすくなります。後退に慣れるまではより一層慎重な運転を心がけること。
- ・ 後退は足を着いた状態で行い、クラッチの操作でスピードを調節すること。
- ・ ブレーキを強く掛けた状態でクラッチをつながないでください。トランスミッションの保護機能が働きブレーカーを破損する可能性があります。
- ・ 勢い良くクラッチをつながないでください。トランスミッションの保護機能が働きブレーカーピンを破損する可能性があります。

	1. 車両に乗車して、エンジンを始動した後にスタンドを解除します。
 ニュートラル 1 速	2. クラッチレバーを握り、ギヤを1速に入れます。 手順 5 まではクラッチレバーを握った状態で操作します。 注意 メインシャフトの回転を止めるためにギヤを一速に入れます。この操作を行わないとシフトレバーを後退の位置に動かすことができません。強引にシフトレバーを操作すると保護機能が働きブレーカーピンを破損します。
 シフトレバー	3. クラッチレバーを握った状態でシフトレバーを後退の位置にします。 ギヤのかみ合い位置が悪いとシフトレバーを後退の位置に動かすことができない場合があります。この時は車両を前後に少し動かすとシフトレバーを後退の位置に動かすことができます。 注意 この状態でクラッチをつながないでください。保護機能が働きブレーカーピンを破損します。また、エンストによる衝撃で転倒の恐れがあります。 アドバイス 傾斜があって車体が動く場合は、右足でリヤブレーキを掛けてください。

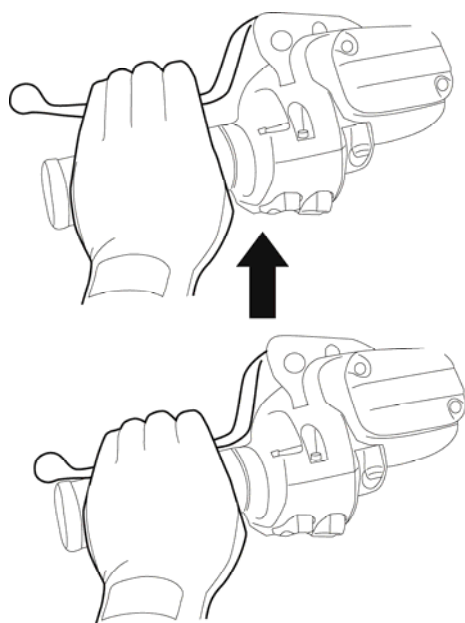


4. クラッチレバーを握った状態でギヤをニュートラルに入れます。

注意

クラッチをつなぐと後退できる状態となっていますが、この状態でクラッチをつながないでください。周囲の安全確認や急な後退による転倒を防止するためです。

5. 後方を目視で十分確認します。



6. 両足を地面に着いた状態で、ゆっくりと慎重に後退を行います。アクセルを操作せずにゆっくりとクラッチをつなぎます。足で後退する時と同様にゆっくりと後退し、クラッチ操作で後退スピードを調整します。

注意

前進と比べて後退は車体が不安定な状態になりやすくなります。十分注意して操作すること。

また、トランスミッションを保護するためのブレーカーピンは以下の操作を行うと破損する可能性があります。後退時にブレーカーピンが破損すると車両が不安定になりますので、ブレーカーピンを破損させないように後退を行うこと。

- ブレーキを掛けた状態でクラッチをつないだとき
- 勢い良くクラッチをつないだとき
- 後退時にアクセル操作を行ったとき
- 急制動を行ったとき
- クラッチを切らずにシフトレバーを操作したとき
- クラッチを切らずにブレーキレバーを操作したとき

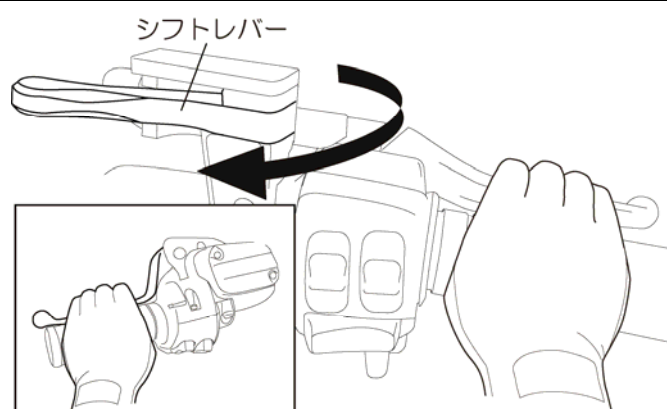
7. 停車する際は、クラッチレバーを握り、急ブレーキはかけずにゆっくりとスピードを落として停車します。

注意

緩やかな傾斜や路面に凸凹がある場所では転倒の恐れがあるため、より慎重な操作を行ってください。

アドバイス

後退機構はメインシャフトの回転を動力として利用しています。後退中にクラッチを切らずにブレーキをかけるとトランスミッション保護機能が作動し、ブレーカーピンが破損します。停車の際は、クラッチレバーを握り緩やかなブレーキ操作を行ってください。



8. クラッチを握ったまま、リヤブレーキをかけ、シフトレバーを後退の位置から戻します。

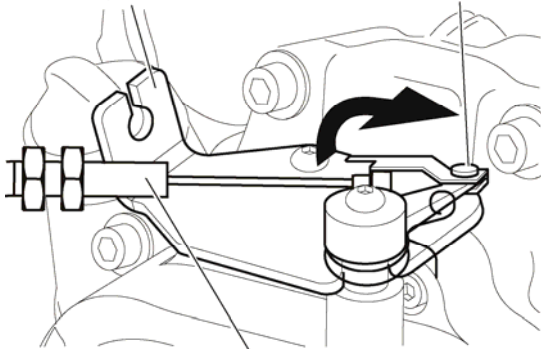
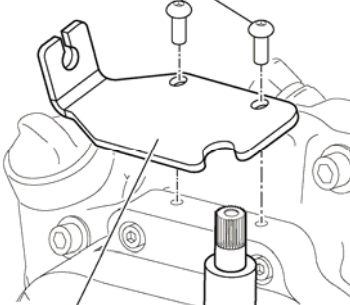
注意

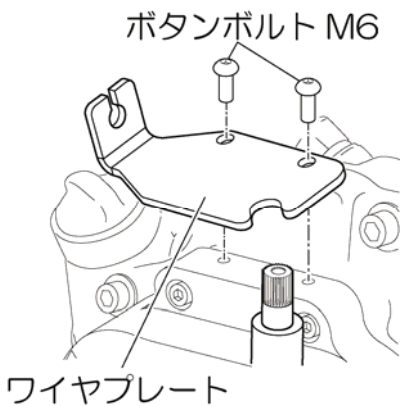
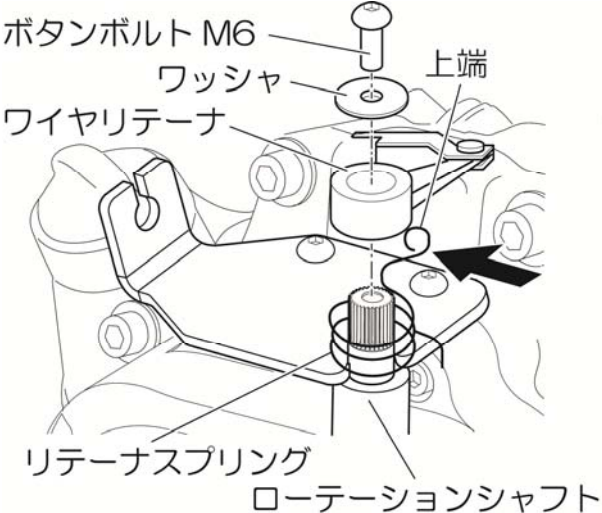
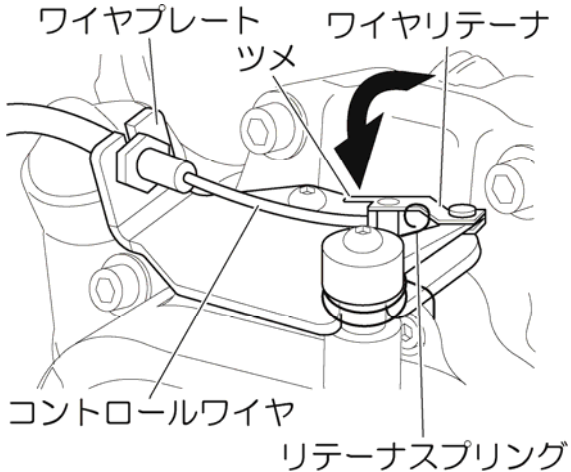
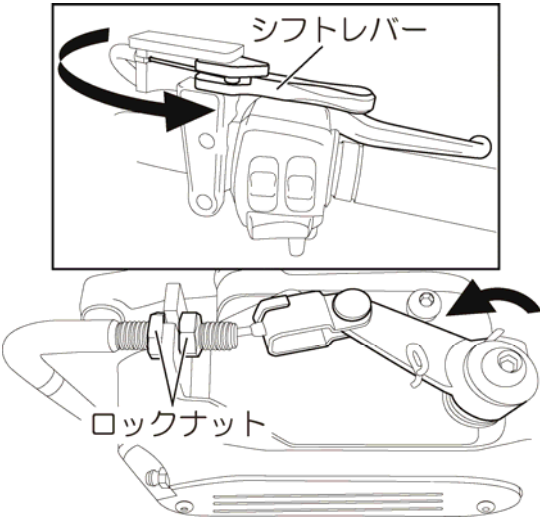
後退後は、必ずシフトレバーを後退位置からニュートラル位置に戻してください。シフトレバーが後退位置にある状態でクラッチレバーを握らずにエンジンを始動するとブレーカーピンの破損や車両の後退により、思わぬ事故につながる恐れがあります。

保護機能作動時のブレーカーピン交換手順

作業前準備

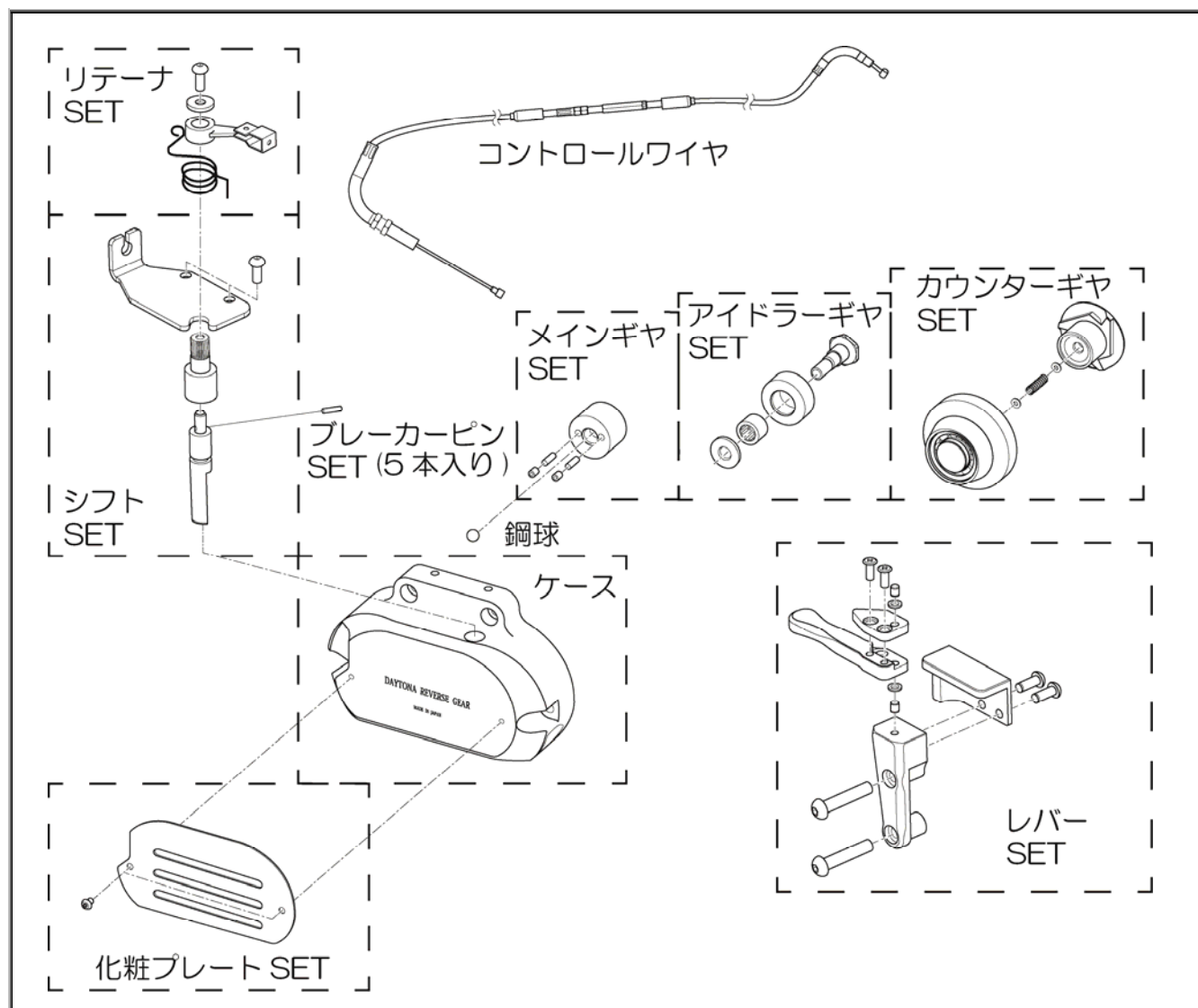
エンジンおよびマフラーが冷えていることを確認し、車両を平らな安定した場所に駐車して作業を行ってください。

ワイヤプレート ワイヤリテーナ  コントロールワイヤ	1. ワイヤリテーナ側のコントロールワイヤ調整ナットを緩め、コントロールワイヤをワイヤプレートおよびワイヤリテーナから取り外します。
ボタンボルト M6 ワッシャ ワイヤリテーナ  リテーナスプリング	2. ボタンボルト M6 およびワッシャΦ17を取り外し、ワイヤリテーナとリテーナスプリングを取り外します。
ボタンボルト M6  ワイヤプレート	3. ボタンボルト M6 を取り外し、ワイヤプレートを取り外します。
ローテーションシャフト  リフターシャフト ブレーカーピン	4. ローテーションシャフトを取り外します。 5. 破損したブレーカーピンを取り除き、新品のブレーカーピンをリフターシャフトに挿入します。

 ボタンボルト M6 ワイヤプレート	6. ワイヤプレートを⑰ボタンボルト M6 でケースに取り付けます。 ワイヤプレート締め付けトルク: 10 N・m
 ボタンボルト M6 ワッシャ ワイヤリテーナ リテーナスプリング ローテーションシャフト	7. ワイヤリテーナのアーム部が車両に対して垂直となるようにワイヤリテーナをローテーションシャフトに取り付けます。ワイヤリテーナを取り付ける際は、リテーナスプリングの上端を車両後方に押し、ワイヤリテーナのアーム部にリテーナスプリングを取り付けます。ワイヤリテーナをワッシャφ17とボタンボルトで締め付けます。 ワイヤリテーナ締め付けトルク: 8 N・m
 ワイヤプレート ツメ ワイヤリテーナ コントロールワイヤ リテーナスプリング	8. ワイヤリテーナにコントロールワイヤを取り付けます。 ワイヤリテーナのツメを折り曲げ、コントロールワイヤをワイヤプレートに仮止めします。 ワイヤリテーナのアーム部にリテーナスプリングを取り付けます。
 シフトレバー ロックナット	9. ワイヤリテーナ側のコントロールワイヤ遊び調整ナットでワイヤの遊びを調整します。 遊びは、ワイヤリテーナを手で後退の位置にしたときに、シフトレバーが後退の位置となるように調整します。

補修部品

商品名	品番	備考
シフトSET	91421	
リテーナSET	94470	
レバーSET	94471	
コントロールワイヤ	94472	
ブレーカーピンSET	91468	5本入り
メインギヤSET	91428	
鋼球	91471	
アイドラーギヤSET	91455	
カウンターギヤSET	91456	
ケース	91457	
化粧プレートSET	91458	



JASDAQ上場
株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona-mc.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで